

平成21年度県青連トップセミナーが人材育成をテーマに開催される

「商工会青年部トップセミナー」が、6月20日午後、宜野湾市のフェストーネで開催、今年度は「人材育成」をテーマに、國場浩明氏(國場経営事務所)による「メンター制度導入支援セミナー」と、平井雅氏(株式会社カルティバイト)による「ファシリテーション体験講座」の2つのセミナーを実施した。

「メンター制度導入支援セミナー」は、宜野湾市商工会が沖縄労働局より委託を受け実施している事業を活用、若年者の早期離職防止に有用な概念を学び、青年部活動でのお互いのコミュニケーション能力を高めるものであった。

「ファシリテーション体験講座」では、青年部事業を運営する上で、部員同士の意見をまとめていく



開会セレモニー時での高里会長の挨拶



ファシリテーション体験講座の様子



開会セレモニー時の誓いの言葉

ための手法を学び、実際にグループワークを行うなど、より実践的な内容となっていた。

今後も青年部運営のみならず実際の経営に役立つセミナーを多く企画してほしいとの感想の声も寄せられ、参加者の意識の高さが窺えた。

1. 商工会女性部員研修会 (九州大会 in かがしま)



渡具知ミユキさん



女性部九州大会会場風景 (鹿児島県、城山観光ホテルにて)

商工会女性部員九州大会が平成21年7月7日、鹿児島県で開催された。沖縄県代表として名護市商工会女性部の渡具知ミユキさんが主張発表を行なったが、今回は残念な結果となった。九州代表には鹿児島県喜界町商工会女性部の豊島代子さんが選ばれた。

2. 公庫融資「マル経資金」需要好調！早めのご相談を！

今年4月に政府の経済緊急対策として小規模事業者経営改善資金(通称 マル経資金)が大幅に拡充されました。マル経資金は商工会会員(原則6ヶ月以上経営指導を受けた者)が商工会長の推薦を受け無担保・無保証及び低金利(固定)で事業資金として貸付ける沖縄公庫の融資制度。そのマル経資金が、更に融資枠を最高1,000万円から1,500万円に拡大され、返済期間も最長7年から10年(設備資金の場合)となった。マル経資金の4月~6月の3ヶ月間の前年度対比として前年貸付件数258件に対し本年度は267件と9件の増となり、貸付金額においては前年度13億1千万円に対し、本年度は16億5千万円と3億5千万円の大幅な伸びを見せている。この調子でいくとマル経資金沖縄県枠の早期消化が予想される。資金繰りをお考えの会員の皆さん“早めのご相談を”お勧めします。

私たちは、自然環境に
やさしいホテルを目指します



OKINAWA HARBORVIEW
CROWNE PLAZA
www.crowneplaza-harborview.jp